

「今すぐ消費税を 5%に」の訴えに広がる共感の声

政府は5日1都3県に対する緊急事態宣言を3月21日まで2週間延長を決定しましたが、再延長の検証・反省はなく、従来の国民への「お願い」を押し付けるものです。年明けから長期にわたる国民生活への制約による影響は、失業、生活苦、自殺の増加など計り知れません。今、急がれるのはPCR検査の拡充、医療機関の減収補てん、雇用や営業への十分な補償などです。今こそ都議選、総選挙で政治を変え、消費税5%減税、安心・安全な暮らしを実現させましょう。



読者への署名の呼びかけにカンパも 京都の会 2月27日

京田辺市の近鉄新田辺駅前では10人の参加で宣伝署名行動。飲食店の前には持帰り弁当が積まれ、人通りは少ないが「消費税減税が必要、頑張ろうな」の声も。

京都の会では「消費税5%」署名を提出日2月19日に間に合わせようと「ノー消費税」読者に返信封筒をつけて訴えたところ、10日間に24人から231人分の署名とカンパが寄せられ、読者の熱い気持ちを感じました。

消費税減税、新しい政治の実現を 大阪の会 2月28日

富田林市の龍谷不動尊前で、大阪の会・富田林の会・革新懇・9条の会、衆院大阪15区市民連合と合同で街頭宣伝。コロナ禍が世界に広がるなか52ヶ国が消費税減税にふみだしたことを紹介。日本でも政権交代で消費税5%減税を実現しようと訴えました。参拝者から「景気回復へ消費税減税を」の声が寄せられました。

医療費負担、大変。消費税減税して！

富山の会 2月24日

富山各界連と共同で富山市総曲輪商店街で署名宣伝行動。兵庫県から大学受験に来た女性は「バイトがなく参考書も買えない。消費税は大変」と署名。70代の女性は「毎日、診療所通いで医療費が大変。せめて消費税を下げてください」と署名。

5%に下げて 暮らしの応援

石川の会 2月24日

金沢市の近江町いちば館前広場で新婦人の会と合同で署名宣伝行動。「今すぐ消費税を5%に」の横断幕を掲げてアピール。買い物帰りの女性は「消費税10%は生活への影響が大きい。大儲けしている大企業や富裕層からもっと税金を集めるべき」と。

消費税払っても「良いことない」

青森市の会 2月22日

青森市の新町商店街で東青各界連と合同で6人の参加で宣伝署名行動。80代の女性は「どんどん生活が苦しくなっている。消費税払っても良いことないね」と憤って署名。

3人の読者拡大

香川の会

このニュースを作成中に嬉しい電話が入りました。若い人や知人に声をかけ、3人の読者増。さらに頑張ると。



暮らしと命を守るため、消費税5%に

福島県の会 2月24日

いわきの会 JRいわき駅前では5人の参加で署名宣伝行動。30分で12人が署名。失業中の青年は「消費税減税は賛成」と署名。80歳の婦人は「孫が仕事がないので私が働いている」と署名。

福島の会 2月12日消費税5%減税を求める請願を県議会に行いました。県民連合の椎根健雄政調会長と懇談し「個人としては減税は賛成だが、紹介議員にはなれない」など親しく歓談しました。